

# たんちよう

JAくしろ丹頂  
広報誌

vol.89  
2015.2

くしろ丹頂

## 北海道総合畜産共進会 最高位賞受賞祝賀会

# 最高位賞受賞祝賀



受賞者 (株)敬和ファーム 成田純哉さんと妻・洋子さん

### C O N T E N T S

- 第16回 北海道総合畜産共進会（乳用牛部門）  
最高位賞受賞祝賀会 \_\_\_\_\_ 1
- 平成26年度 役員道外視察研修報告 \_\_\_\_\_ 2~5
- 営農計画樹立協議終了 \_\_\_\_\_ 6
- 鶴居村ふるさと給食  
理事会報告 / 生乳生産実績 \_\_\_\_\_ 7
- 普及センターだより \_\_\_\_\_ 8
- 音別地区の皆様へ / 辞令発令 / 退職者 \_\_\_\_\_ 9



鶴居村「ふるさと給食」で模擬搾乳体験

# 第16回 北海道総合畜産共進会（乳用牛部門） 最高位賞受賞祝賀会

「KWF サンチエリア ダーハム ビュー」

音別 (株)敬和ファーム 成田 純哉 氏



昨年十二月十四日、第十六回北海道総合畜産共進会（九月・安平町早来）で乳用牛部門・グラントチャンピオンを獲得した「KWF サンチエリア ダーハム ビュー」号・音別(株)敬和ファーム成田純哉氏の栄誉を称え、釧路で酪農家及び関係団体などから約200人が出席し、最高位賞受賞祝賀会が開催されました。

主催者挨拶で武藤清隆組合長は「最高位賞受賞は、平成十八年に当J A が合併してからの快挙で大変喜ばしく、乳牛改良及び酪農への情熱、日頃の努力の賜物であり、またご家族の協力なくしては成しえなかったのとは感じております。今後の地域酪農発展への起爆剤となって頂きたい。」と述べました。

成田純哉氏は、「この最高位賞受賞は、続けてきた乳牛改良が形となり、大変嬉しく感じております。地域及び各関係者の皆様、また家族の支えがあったからこそ、この結果に繋がったものと大変感謝しております。今後共進会や乳牛改良などを通じ、より牛を見る目と飼養管理技術などを培っていきたい。そして、自らの知識と技術を生かし、地域酪農のため次の世代へとつなげていきたい。」と挨拶し、出席者からは盛大な拍手が贈られました。祝宴は全道共進会時のDVD上映や歌謡ショーなどで大いに盛り上がり、結びに万歳三唱をもって本祝賀会は盛会裡に終了しました。



# 平成26年度 役員道外視察研修報告

昨年11月17日から20日の3泊4日の日程にて、JA役員研修が行われました。

11月17日、役職員11名、添乗員1名の計12名で釧路空港を出発し、新千歳空港経由にて中部国際空港へ向かいました。

初日は、夕方ではありましたが伊勢神宮の内宮を参拝し、その後宿泊先のホテルにて安着を祝い、研修期間中の無事を祈願致しました。

18日、全酪連名古屋支所長 関和次男氏、大内山酪農農協代表理事組合長 谷川原万欣氏、大内山酪農農協酪農部長 田中泰人氏の案内により農事組合法人 尾崎畜産 御浜ファームへと向かいました。

## 【農事組合法人 尾崎畜産 御浜ファーム 代表取締役社長 尾崎光広氏】

御浜ファームは、世界遺産に指定された熊野山地の、緑豊かな丘陵地帯に位置し、総面積30ヘクタールの敷地に、牛舎、堆肥舎、搾乳棟などの建物が整然と建ち並んでいます。



御浜ファーム ロータリーパーラー

牛舎の天井の高さは12メートル、快適で清潔な舎内で、周りの自然そのままの新鮮な空気をたっぷりと吸いながら、千頭以上の乳牛がゆったりと暮らしています。

今のこの姿になるまでには、長い年月の試行錯誤の繰り返しと話されていました。

現会長の尾崎敬吾氏は、19歳の春、3頭の乳牛を連れて、北海道から7日間貨車に揺られた末に、新宮駅に下り立ちました。それが酪農人生のスタートであり、御浜ファームの誕生であります。それから50年、理想の酪農を目指し、多くの方々の協力を得ながら、直面する様々な課題に取り組み、前進、前進の日々を送ってきた結果、フリーストール牛舎でのフラッシュシステム、食品副産物の飼料化、ロータリーパーラーの導入、浄化槽を用いた糞尿処理、大頭数の哺育システムなど、そのいずれもが日本酪農の先駆けとしてのチャレンジであります。なお、現在の従業員数については、50名が働いています。

今後においても、環境保全型の酪農を心がけ、美味しい牛乳と、健康な子牛を、広くみなさまにお届けし、日本酪農のモデルをめざしています。

### ○搾乳部門

本業である生乳生産は、原乳として大内山酪農組合に納めています。

飼育頭数：ホルスタイン種 約1,300頭

生産量：日量 約33トン、年間約1万2千トン

搾乳：1日3回搾乳、48頭のロータリーパーラー使用

牛舎構造：フリーストールのフラッシュシステムとフリーバーンを使用

### ○哺育育成部門

乳牛が出産する子牛に加え、他からの導入も行い、肥育牛の素牛として市場などに出荷し

ています。

飼育頭数：約1,200頭（F1交雑種900頭、和牛200頭、乳牛100頭）

出荷頭数：月約150頭、年間約1,800頭

飼育期間：6ヶ月から10ヶ月

飼育方法：ハッチで人工哺乳を行い、その後、自動哺育システムにて群飼い

#### ○和牛繁殖部門

黒毛和牛から受精卵を取り出し、乳牛に移植して和牛を生産しています。

飼育頭数：150頭

生産頭数：年間約200頭

#### ○堆肥製造部門

牛舎などから発生する糞をバークなどの副資材と混合し、長期間醗酵をさせ完熟堆肥として出荷しています。

出荷数量：年間約1万5千トン

出荷形態：袋詰及びバラにて出荷

#### ○飼料製造部門

全ての原料を混合し、密封された状態で長期間じっくり寝かせた醗酵飼料を生産しています。

製造量：1日約60トン

設備内容：攪拌用ミキサーフィーダー 30立方タイプ2台、20立方タイプ1台、  
給餌用自走ミキサーフィーダー 2台、8立方鉄製コンテナ 500個

飼料販売：他の農場へ年間約5千トン出荷

#### ○産廃物飼料化部門

三重県産業廃棄物処理業の許可を取得し、東海及び関西方面の食品工場から発生する副産物を多数飼料化しています。

引き取り品目：おから、パイナップル屑、醤油粕など

処分許可内容：醗酵による飼料化

#### ○エコ活動

廃材をボイラーの原料として利用し、発生させた蒸気により牛舎内のお湯、暖房に活用すると共に、余った蒸気については堆肥の強制乾燥に利用されています。

#### 意見交換会において

- このような施設を目指した理由は：現尾崎敬吾会長が理想の酪農を追求し、直面する様々な課題に日夜取組み、日々の前進を重ねてきた結果の姿とのこと。
- 補助事業の活用が見られないことは、大半が日本政策金融公庫等の融資か：補助事業の制約を受けずに、施設等の工事が可能とのこと。
- 現在の乳価と直近の年間出荷乳量は：先月で109円となっている。年間出荷乳量は23,000千トンとのこと。





- 初妊牛の到着価格は：輸送経費等を含んで65万円位となっている。
  - 堆肥の販売は、コストの吸収が可能か：償却費を考えるとマイナスとなる。
  - 食品工場から発生する副産物の確保は：確保に向けた、日々の努力を絶やさないこと。
- 上記の他にも多数の意見交換が行われました。

引き続き、全酪連名古屋支所長 関和次男氏、大内山酪農農協代表理事組合長 谷川原万欣氏、大内山酪農農協酪農部長 田中泰人氏の案内により、追加視察先となった大内山酪農農協乳業工場へと向かいました。

## 【大内山酪農農協乳業工場 代表理事組合長 谷川原万欣氏】

大内山酪農農協の概要は、昭和23年11月29日農協法の施行により設立し、生産・処理・販売の一貫体制を確立しています。組合員は17市町で62名（正組合員33名、准組合員29名）、役員11名（理事9名、監事2名）、職員92名（正職員72名、臨時・パート20名）、出資金208百万円となっています。



また乳牛の飼養頭数は、4,174頭、年間の生乳生産量は、33,270トン（日量91トン）、牛乳処理能力は日量102トン、総事業高は、8,962百万円うち牛乳・乳製品売上高は4,434百万円となっています。

取引先販売店については、三重県他3県で74店舗を構え、量販店においても、イオン(株)・マックスバリュ中部(株)・(株)ぎゅーとら・(株)オークワなど多数取引されています。また、生協については、東海コープ事業連合・大阪いずみ市民生協・市民生協ならコープ・わかやま市民生協・おおさかパルコープ・日本生協連となっています。

学校給食については、三重県中南勢部・北勢部一部において330校（約8万2千人）へ供給しています。

乳業事業の処理・加工については、組合生産者の良質な原料乳を量、質とも損なうことなく新鮮なうちに処理加工し、牛乳の良さを活かした製品作りを行っています。販売については、生産者と消費者がお互いの顔の見える信頼関係を築き、生産者から直接消費者に製品を届けることを目標としています。

19日、全酪連名古屋支所購買畜産課長 蒲田泰介氏、愛知県酪農農協渥美支所長 浅岡隆道氏の案内により愛知県酪農協渥美支所 大沢牧場へと向かいました。

## 【大沢牧場 大沢文孝氏】



大沢牧場は、愛知県酪農協渥美支所管内にて酪農経営を営み、乳牛の飼養頭数は経産牛が62頭、育成牛が31頭で育成牛については北海道への預託を基本としています。農業従事者については、本人、両親、外国人研修生2名の計5名にて行われ、飼養形態については、対頭式のつなぎ牛舎により管理されています。出荷乳

量は1.6～1.7トン/日（26～28kg/頭数）となっています。飼料の給与体系は、TMR給与により行われ自給飼料は無く、全て購入飼料に依存しており、乾乳牛は別棟牛舎にて管理され、基本つなぎで分娩近くなると簡易フリーバーンへと移されます。当農場は、乳検事業を実施し牛群の改良にも力を入れている代表的な農場です。

## 【販売預託事業の意見交換会について】

【出席者】生産者（伊藤多郎様・大沢文孝様・渡辺重見様）、(有)渡辺牧場様、蒲田泰介 購買畜産課長（全酪連名古屋支所）、河合智子 購買畜産係（全酪連名古屋支所）、大野弘平 購買畜産係（全酪連名古屋支所）、浅岡隆道 支所長（愛知県酪農農協渥美支所）、田中良幸 生産指導係長（愛知県酪農農協渥美支所）

### 意見交換会にて出された主な意見・要望について

- ・雌雄判別精液について、2回目の受精希望者があれば対応を図って頂きたい。
- ・若齢牛の預託は、道内において何か月齢からの受入れが可能か。
- ・1月～2月厳寒期の入牧が可能とならないか。
- ・ET技術の導入、哺育ロボット導入について。
- ・経費は皆で負担をすることが望ましく、預託料の引上げについては、止むを得ない。
- ・全酪連と県酪連の2つのパターンから生産者の選択ができる。

### 意見交換会終了後、トヨタ博物館へと移動し館内を見学いたしました。



トヨタ博物館は、平成元年4月にオープンし、ガソリン自動車が生じた19世紀末から20世紀の自動車の歴史を約120台の車両により展示されています。日本のモータリゼーションの歴史を人の暮らしと生活文化との関連で捉え、暮らしと自動車の関わり合いは、まさに「20世紀は車に恋した時代」だったかもしれません。それぞれ若き日の懐かしい愛車もあり、思い出に浸った見学となりました。

### 20日、最終日は午前より名古屋城本丸御殿を見学いたしました。



名古屋城本丸御殿は、初代尾張藩主の住居・政庁として使用するため、慶長20年(1615)、徳川家康により建てられました。昭和5年には天守と共に国宝に指定され、名建築として知られていましたが、昭和20年の空襲により焼失しました。

平成21年(2009)から復元工事を開始し、平成25年5月29日に第1期部分(玄関と表書院)の公開が始まりました。なお、すべての工事の完了は平成30年を予定しています。総面積は3,100㎡、部屋数は30を超える平屋建の建物です。この復元工事は、「平成の市民普請」として、支援をいただき、工事の様子を公開しながらすすめています。

その後、お昼前の中部国際空港を発ち、夕方には全員無事に釧路空港へ到着しました。

初日より天候には恵まれ、とても有意義な研修になりました。

(記：松 臺 恭 二)



# 「営農計画樹立協議」終了

「牛づくり・草づくり・生づくり」の再構築を

一月十五日から白糠地区を皮切りに一月末にかけ、四地区で平成二十七年度営農計画樹立協議が実施されました。

平成二十六年度は、第八期

生乳安定生産対策の三年目を迎え、全道的に搾乳中止戸数の増加や分娩のずれなどで、目標数量達成は厳しい状況となっております。



白糠



鶴居



幌呂

平成二十七年度、酪農情勢の見通しは、日本経済の円安傾向、高齢化や後継者不足による酪農家戸数の減少、労働力不足、乳牛頭数の減少、飼料作物の生産性低下、TPP交渉の展開等、日本農業にとって厳しい環境が予想されます。



音別

新年度におかれましても、酪農畜産発展のため、基本となる「土づくり・草づくり・牛づくり」の再構築による経営基盤の強化・充実が図られ、中長期的展望にたった経営戦略策定のもと、家族総意・社員総意での積極的な取り組みをご期待致します。



十二月九日、鶴居小学校で三年生を対象に「ふるさと給食出前授業」がよつ葉乳業(株)根釧工場運営協力会の主催で実施されました。青年部鶴居支部の部員とよつ葉担当者が「くしろの酪農」について説明し、給食時に村内全小中学校の生徒が根釧牛乳を試飲し、地元産の牛乳は子供達にも大変好評でした。

**青年部鶴居支部**  
**ふるさと給食出前授業で**  
**食育教育を実施**

## 理 事 会 報 告

### 12月定例理事会 平成26年12月22日（月）

#### 報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 11月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 定期監査（第3四半期末）報告について
6. 加工原料乳確保緊急対策事業の集計について
7. JA全国監査機構期中監査の結果について
8. 反社会的勢力排除対応管理先対応状況の報告について

- 議案第3号 特定組合員特別運用基準に係る対象組合員について
- 議案第4号 経理規程の一部変更について
- 議案第5号 北海道農業信用基金協会に対する出資増口について

※以上全件原案通り承認されました。

#### その他協議事項

1. 不動産の取得について
2. 土地立木の売却について
3. 当面の業務日程について

#### 付議事項

- 議案第1号 融資の承認について
- 議案第2号 営農計画樹立基本方針の設定について

### 1月定例理事会 平成27年1月29日（木）

#### 報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 12月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 内部審査の結果について
6. 平成26年度決算見込みについて
7. 『機構改革プロジェクト』の答申内容について
8. 事務受委託契約締結組織の無通告監査の報告について

- 議案第2号 融資の承認について
- 議案第3号 JA全国監査機構期中監査の結果に対する回答について
- 議案第4号 搾乳素牛増頭対策事業要領の制定について
- 議案第5号 理事と組合との契約承認について
- 議案第6号 理事の補欠選任に係る事務日程について
- 議案第7号 不動産の取得等について
- ※以上全件原案通り承認されました。

#### その他協議事項

1. 組合員の農業に係る現況照会について
2. 当面の業務日程について

#### 付議事項

- 議案第1号 営農振興資金の貸付について

■平成26年度 生乳生産実績	(1月)				(12月)			
	月計乳量(kg)	1月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)	月計乳量(kg)	12月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)
釧路丹頂農協	8,407,511.8	103.1	81,758,436.9	98.8	8,233,829.9	101.9	73,350,925.1	98.3
（鶴居地区）	2,836,739.1	103.4	27,501,672.1	99.1	2,762,037.4	100.9	24,664,933.0	98.7
（幌呂地区）	2,176,841.5	102.1	21,623,961.1	98.0	2,143,150.0	101.0	19,447,119.6	97.5
（白糠地区）	1,846,937.4	104.5	17,401,319.9	96.7	1,795,514.8	103.0	15,554,382.5	95.9
（音別地区）	1,546,993.8	102.2	15,231,483.8	101.7	1,533,127.7	103.8	13,684,490.0	101.7
管内計	44,259,126.8	101.3	434,498,148.9	97.7	43,077,290.6	99.9	390,239,022.1	97.4
（前年度管内計）	43,703,230.0		444,542,286.1		43,106,003.9		400,839,056.1	

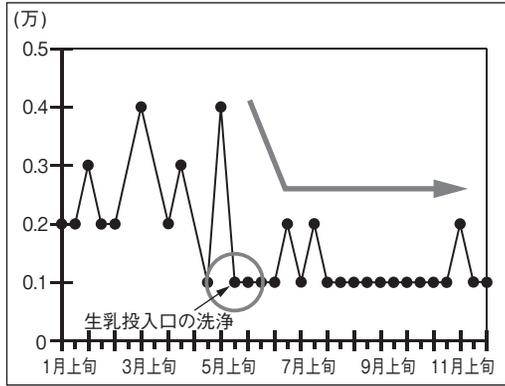


図1：A農場の生菌数推移

## 『洗浄で生菌対策』

生菌数の増加は洗浄不良が要因と言われています。今回は洗浄を中心とした生菌対策について考えてみましょう。

### 1 目視で汚れを確認

生菌数に異常があった場合、バルクからミルクライン、ミルクカーまで生乳が通る場所に汚れが無い確認しましょう。

#### ◆目視による改善事例

A農場では生菌数が○・三万前後となっていました。

原因を探ったところ、バルクの生乳投入口の洗浄不足が見つかり改善した結果、生菌数が回復しました。(図1)

### 2 洗浄液を確認

#### (1) 液量

次のようなことが見られる場合には洗浄液の不足が考えられるため、メーカーに相談をしましょう。

#### 洗浄水不足のサイン

- バットの洗浄液が空になってから循環洗浄の帰りの洗浄液がなかなか戻ってこない
- バットの洗浄液を吸上げている時に空気の吸込みが多い

#### (2) 洗剤・殺菌剤

洗剤や殺菌剤は規定の濃度で効果が発揮されます。

濃度を遵守できるように説明書きを守って使用しましょう。

#### 適正量利用のための確認

- 洗剤や殺菌剤の容器に日付や横線を引き使用量を確認
- 洗剤類を自動供給の場合、吸い上げ機械(下写真)のメンテナンスとチューブ類の詰まりの確認
- アルカリ洗浄水の場合、PHが12以上あること

#### (3) 温度

洗剤は汚れの再付着を防ぐため、40度以上の排出温度が必要です。逆に殺菌剤は高温で殺菌効果が低下するため、43度以下の使用が大切です。

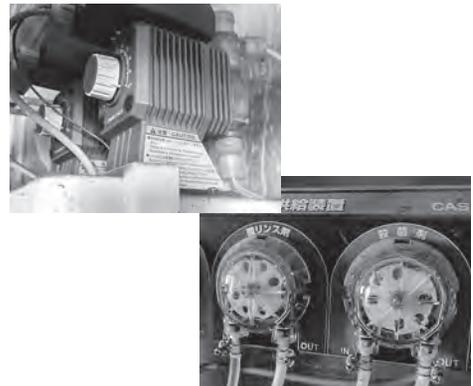


写真1：吸い上げ機械類

#### 洗浄水の温度

- アルカリと酸洗剤  
開始時温度70～80度  
排出時温度40度以上
- 殺菌  
43度以下、熱湯は不可

#### ◆冬場は冷えに注意!

冬場に生菌数が増える場合、ボイラーの老朽化や配管の冷えて排出温度が40度以上になっていない可能性があります。その場合には、ボイラーの点検

修理や循環時間の短縮(ただし六分以上を確保)、場合によっては入替えを検討しましょう。

### 3 パッキン類の交換

劣化したパッキン・チューブのひび割れは細菌の温床となり、洗浄の妨げとなります。定期的に交換をしましょう。

#### ◆パッキン交換による改善事例

B農場ではパイプラインのパッキンを交換したところ、洗浄不足の指標にもされている耐熱性菌が減少しました。以降、耐熱性菌のランクはA(殆ど検出無し)を継続しています。



写真2：交換したパッキン  
左上に欠けが見られた。欠けやヒビは汚れの温床になりやすい。

生菌数はちよつとした事が原因かもしれない。洗浄に係わる項目をチェックし、対策を行います。(平成二十七年二月)

## 音別地区の皆様へ（釧路市選挙管理委員会からのお知らせ）

## 釧路市農業委員会委員選挙立候補予定者説明会の開催について

任期満了による釧路市農業委員会委員選挙の投票が4月19日(日)に予定されております。これに伴い、下記のとおり立候補予定者への説明会が行なわれます。該当者につきましては、出席下さいますようお願い致します。

立候補予定者説明会	平成27年3月24日(火) 午後2時30分
日時・場所	阿寒町行政センター(3階 大会議室)
問い合わせ先	→ 釧路市選挙管理委員会 音別支局(地域振興課) 電話(01547)6-2231 FAX(01547)6-2434

## 辞令発令

平成27年2月1日付

氏名	異動後	異動前
山村正幸	金融共済部 金融課長	購買部 生産資材課長
田中郁尚	購買部 生産資材課長	幌呂支所 購買課長
泉力男	幌呂支所 購買課長	音別支所 金融共済課長
菊地仁	白糠支所 購買課資材係長	幌呂支所 牧場課幌呂育成牧場係長
長谷川隆	音別支所 金融共済課長	金融共済部 金融課長

## 大変お世話になりました。

この度、平成26年12月31日をもちまして、釧路丹頂農業協同組合を定年退職いたしました。昭和50年4月1日に旧幌呂農協に入組以来39年6ヶ月の永きにわたり大過なく職責を全うさせて頂くことができましたのも、公私にわたる皆様のご指導ご鞭撻の賜と心から感謝いたしております。



小泉 聡

幌呂支所牧場課  
幌呂育成牧場審査役

私は、農協職員としての大半を人工授精業務に携わり、この間、組合員との触れ合いの中から多くのことを学ぶ事ができ、私の大切な財産となっております。

これからは多くの方々との出会いを大切に、永い歳月の数々の貴重な経験を今後活かしてゆく所存でありますので、何卒今後とも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、釧路丹頂農協の益々の発展と組合員ならびに役職員の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、退職のご挨拶と致します。長い間お世話になり有難うございました。

(本職員は引き続き、幌呂支所に準職員として勤務しています。)

□隣国の韓国では、口蹄疫が猛威を振るっております。個人で自主的に出来る対策には限界がありますが、常日頃から防疫体制の徹底を心掛けてまいりましょう。

□大寒は過ぎましたが、厳しい寒さはまだまだ続きます。乾燥する冬の時期は、空気中を漂う風邪などのウィルスも増えますので、人及び牛の健康管理には万全を期してまいりましょう。

編集後記  
EDITOR'S NOTE